株式会社佐藤渡辺

（証券コード：1807）

2027年3月期第2四半期（中間期）

決算説明資料

真心こめた『みち』への挑戦　～安心と感動を～

2026年11月19日

目次

株式会社佐藤渡辺

1 企業概要

2 2027年3月期第2四半期決算概要

3 2027年3月期業績予想

4 サステナビリティの取り組み

1 企業概要

企業概要

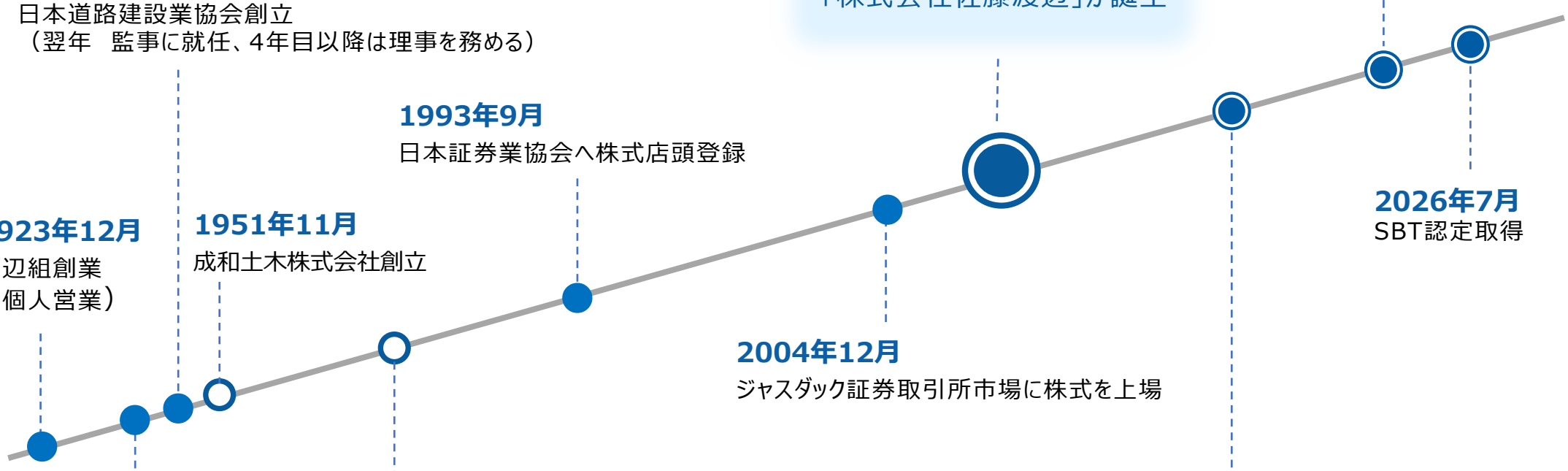
株式会社佐藤渡辺

会社名	株式会社佐藤渡辺 / WATANABE SATO CO., LTD.
創業・創立	創業：1923年（大正12年）渡辺組（個人営業） 創立：1938年（昭和13年）株式会社渡辺組
本社所在地	東京都港区南麻布一丁目18番4号
代表者名	代表取締役社長　鎌田　修治
資本金	17億5,150万円
上場市場	東京証券取引所　スタンダード市場（証券コード：1807）
従業員数	537名（2026年3月31日現在）（連結）
支店	北海道（北海道札幌市）、東北（宮城県仙台市）、関東（東京都港区）、 施設工事（東京都港区）、中部（愛知県名古屋市）、北陸（富山県富山市）、 近畿（兵庫県三田市）、中四国（広島県広島市）、九州（福岡県糟屋郡新宮町）
グループ会社	（株）弘永舗道（青森県弘前市）、（株）創誠（福島県石川郡石川町）、 小石川建設（株）（東京都練馬区）、 拓神建設（株）（神奈川県横浜市）
主要所属団体および役職	一般社団法人日本道路建設業協会（常任理事） 公益社団法人日本道路協会（理事） 一般社団法人日本アスファルト合材協会（常任理事）

沿革

株式会社佐藤渡辺

- 佐藤渡辺
- 渡辺組
- 佐藤道路



1923年12月
渡辺組創業
（個人営業）

1938年12月
株式会社渡辺組設立

1945年11月
日本道路建設業協会創立
（翌年　監事に就任、4年目以降は理事を務める）

1951年11月
成和土木株式会社創立

1972年10月
佐藤道路株式会社に商号変更

1993年9月
日本証券業協会へ株式店頭登録

2004年12月
ジャスダック証券取引所市場に株式を上場

2005年10月
株式会社渡辺組と
佐藤道路株式会社が合併し
「株式会社佐藤渡辺」が誕生

2022年2月
佐藤工業株式会社と資本業務提携契約締結

2022年4月
東京証券取引所のスタンダード市場へ株式を移行

2023年12月
創業100周年を迎える

2026年7月
SBT認定取得

パーパス・経営理念

株式会社佐藤渡辺

パーパス

真心こめた『みち』への挑戦　～安心と感動を～

私たち佐藤渡辺グループが目指すのは、すべての人々が安全・安心に暮らし、未来へとつながる『みち』を提供することです。

『みち』とは、私たちが整備を担う道路だけではなく、人々の生活を支え、地域をつなぎ、経済社会の発展を支える大切な基盤となるものです。

私たちはこれからも、経営信条および社是を大切にし、道をつくる仕事に真心を込め、未知へ挑戦することで、すべての人々と社会に安心と感動を届ける存在であり続けます。そして、未来をともに築くパートナーとして、ステークホルダーの皆様とともに歩んでまいります。

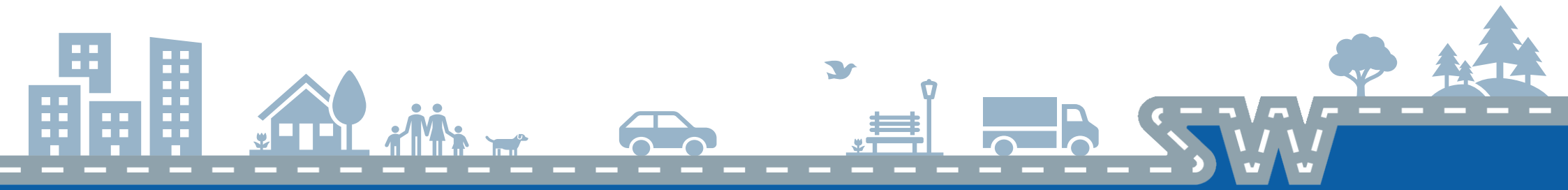
経営理念

経営信条

社会の求めるものに応えることを通し、社会に奉仕する。このため会社はその存続発展をはかるに足る相応の利益を挙げる。

社是

誠実　創造　最高の技術



事業所一覧

株式会社佐藤渡辺

- 支店　9ヶ所
- 営業所・出張所　30ヶ所
- 合材工場　25ヶ所
- 技術研究所　茨城県
- 機械センター　千葉県
- グループ会社　4社



北海道
・北海道支店

東北
・東北支店

北陸
・北陸支店

中部
・中部支店

関東
・本社
・関東支店
・施設工事支店
・機械センター
・技術研究所

中国・四国
・中四国支店

九州・沖縄
・九州支店

近畿
・近畿支店



本　社



技術研究所

事業内容

株式会社佐藤渡辺

建設事業			
工事部門	舗装・土木工事等	公共工事	・高速道路 ・一般道路 ・トンネル ・空港、港湾 ・アスファルト注入工法
		民間工事	・東京ガスネットワーク ・物流施設 ・都市空間事業 ・建築外構
	環境景観工事	コンクリート系舗装	・パーミアコン ・サーモスカラー
		雨水貯留浸透・ 流出抑制工法	・リ・タンスイシステム
		ウォータージェット工法	・ハイドロミリング
		木質系舗装	・ウッドクリート ・インターウッド
		アスファルト系舗装	・ポリシングペーブ ・エク・シェル
		樹脂系舗装	・デカラペーブ
		緑化	・ザッソレス
製品等販売部門	建設資材の製造および販売		・アスファルト混合物 ・ＳＷヒートミックス ・改良土
	産業廃棄物処理事業		・アスファルト塊 ・コンクリート塊

●高速道路



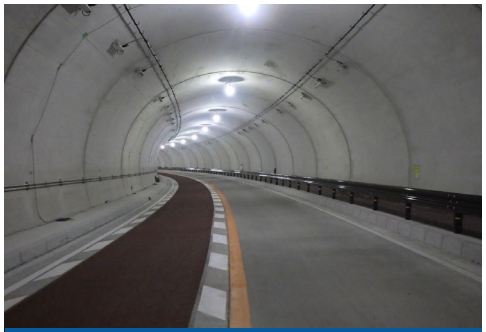
東北自動車道　菅生スマートIC舗装工事

●国道（舗装修繕）



令和元年度19号丸の内地区舗装修繕工事

●トンネル



名塩道路城山トンネル舗装工事

●物流施設



AVL海老名特定流通業務施設計画

●ガス復旧



道路復旧工事　（低圧）

●港湾



令和5年度青海埠頭ヤード改修工事(第1期)

佐藤渡辺の環境景観工事

株式会社佐藤渡辺

■近年、記録的な猛暑や豪雨、強い台風などが次々と発生し、気候変動に伴う自然リスクが高まる中、
当社では、「すべての人々が安心・安全」に暮らすことができる製品開発に取り組んでいます。



パーミアコン

日本初の透水性コンクリート舗装

- 雨水を地中に浸透・還元
- 都市型河川氾濫を防止
- ヒートアイランド現象を緩和



ウッドクリート

**廃材を使用した
高耐久のセメント系木質舗装**

- 間伐材・建設廃材を使用
／地産地消
- ヒートアイランド現象を緩和



リ・タンスイシステム

**業界トップクラスの強度を誇る
プラスチック製雨水貯留槽**

- 都市型洪水の防止
- 高強度かつ優れた耐震性
- 材料の98%に再生材を使用



ハイドロミリング

**最先端の水噴流技術を利用した
ウォータージェットシステム**

- 水の力で剥離し、マイクロクラック・
騒音・粉塵を抑制

数字で見る佐藤渡辺

株式会社佐藤渡辺

売上高（2026年3月期）	営業利益（2026年3月期）	営業利益率（2026年3月期）
337億円	10億円	3.2%

配当性向（2026年3月期）	年間配当金額（2026年3月期）	配当利回り（2026年3月期）
56.5%	80円	4.0%

従業員数（2026年3月期）（単体）	平均年齢（2026年3月期）（単体）	平均勤続年数（2026年3月期）（単体）
451名 男性　383名、女性　68名	44.2歳	19.3年

2 2027年3月期第2四半期決算概要

2027年3月期第2四半期の事業環境

株式会社佐藤渡辺

- 政府による「第１次国土強靱化実施中期計画」に基づくライフラインの強靱化や地域の防災力強化、老朽化インフラの更新需要などに支えられ、公共投資を中心とした建設投資は総じて底堅く推移している。
- 金利上昇や建設コストの高止まりに伴う民間設備投資の一部での慎重な動きに加え、建設資材価格や労務費の高止まり、時間外労働上限規制への継続的な対応、慢性的な担い手不足などが課題となる。

“変革と学習文化の醸成および持続可能性への取り組み”をテーマとする中期経営計画（2024～2026年度）に掲げた3つの基本方針を推進

1. 収益力の向上
2. 資本・財務戦略の強化
3. ＥＳＧ経営の推進

2027年3月期第2四半期決算概要（連結）

株式会社佐藤渡辺

■売上高は、工事部門においては悪天候等に伴う工事進捗の遅れが影響し、予定工程を十分に消化できなかったこと、製品等販売部門においてはアスファルト合材の全国的な需要減少等の影響を受けたことにより、対前年比で減少。

■利益面は、売上高の減少による影響に加え、労務費や資材価格の高騰等により利益率が低下し、対前年比で減少。

（単位：百万円）

	2025年3月期 第2四半期	2026年3月期 第2四半期	2027年3月期 第2四半期	対前年増減	増減率	期初業績予想	進捗率
売上高	16,135	15,159	13,010	▲2,148	▲14.2%	38,000	34.2%
売上総利益	852	1,053	806	▲246	▲23.4%	–	–
売上総利益率	5.3%	6.9%	6.2%	▲0.7pt	–	–	–
販売費及び一般管理費	1,194	1,193	1,173	▲19	▲1.6%	–	–
営業利益	▲342	▲139	▲366	▲226	–	1,100	–
営業利益率	–	–	–	–	–	–	–
経常利益	▲262	33	▲221	▲254	–	1,300	–
当期純利益	▲250	21	▲179	▲200	–	900	–

2027年3月期第2四半期受注高・繰越高（連結）

株式会社佐藤渡辺

■受注高は、製品等販売部門においてはアスファルト合材の需要減少による影響を受けたものの、主力の工事部門における受注が順調に推移したことが牽引し、全社トータルでは対前年比で大きく増加。

■工事部門における順調な受注獲得に加え、悪天候等に伴う一時的な工程の遅れが重なった結果、次期へ繰り越される繰越工事高は対前年比で増加しており、今後の売上につながる潤沢な手持ち工事を確保。

【受注高】

（単位：百万円）

	2025年3月期 第2四半期	2026年3月期 第2四半期	2027年3月期 第2四半期	対前年増減
工事部門	15,355	10,443	14,413	3,969
舗装工事	12,803	8,255	11,133	2,878
土木工事等	2,551	2,188	3,279	1,091
製品等販売部門	1,946	2,303	2,125	▲177
合計	17,301	12,747	16,539	3,791

【繰越高】

（単位：百万円）

	2025年3月期 第2四半期	2026年3月期 第2四半期	2027年3月期 第2四半期	対前年増減
工事部門	23,230	14,507	18,150	3,642
舗装工事	20,345	12,244	14,295	2,050
土木工事等	2,885	2,262	3,855	1,592

2027年3月期第2四半期連結財政状態

株式会社佐藤渡辺

- 売上債権の減少は、悪天候等に伴う工事進捗の遅れやアスファルト合材の需要減少により、売上高が減少したため。
- 未成工事支出金の増加は、悪天候等の影響で次期へ持ち越しとなる工事が発生し、未完成のまま繰り越される工事に掛かったコストが一時的に滞留したため。
- 仕入債務の減少は、売上高の減少に伴って仕入活動が減少したため。
- 純資産は、利益水準の低下に伴う利益剰余金の減少に加え、自己株式の取得を実施したため。

（単位：百万円）

資産の部		2026年3月期	2027年3月期 第2四半期	増減
流動資産	現金預金	6,394	7,235	841
	売上債権	10,288	6,141	▲4,147
	未成工事支出金	707	1,889	1,182
	その他の棚卸資産	234	239	4
	その他	183	433	250
	計	17,808	15,938	▲1,869
固定資産	有形固定資産	9,508	9,384	▲123
	無形固定資産	188	146	▲41
	投資その他の資産	5,168	4,906	▲261
	計	14,864	14,437	▲426
資産合計		32,672	30,376	▲2,296

負債の部		2026年3月期	2027年3月期 第2四半期	増減
流動負債	仕入債務	3,752	3,429	▲323
	短期借入金	0	0	0
	未成工事受入金	1,659	1,516	▲142
	その他	1,577	903	▲674
	計	6,990	5,849	▲1,140
固定負債	長期借入金	0	0	0
	その他	2,762	2,562	▲199
	計	2,762	2,562	▲199
負債合計		9,752	8,411	▲1,340
純資産		22,920	21,964	▲955
負債･純資産合計		32,672	30,376	▲2,296

2027年3月期第2四半期連結キャッシュフロー

株式会社佐藤渡辺

- 営業活動によるＣＦは、悪天候等に伴う工事進捗の遅れやアスファルト合材の需要減少により売上高が減少したため利益水準が低下したことなどから対前年比で減少。
- 財務活動によるＣＦは、短期借入金の大幅な返済を進めたことで前年同期は一時的に支出が拡大していたが、その返済が一巡したため、全体の支出額は減少。また、当期は、機動的な資本政策である自己株式の取得を実施。
- 現金及び現金同等物の期末残高は、不透明な経済情勢への備えとともに、機動的な事業投資を可能とする十分な流動性を確保。

（単位：百万円）

	2025年3月期 第2四半期	2026年3月期 第2四半期	2027年3月期 第2四半期
営業活動によるＣＦ	▲2,304	1,969	1,519
投資活動によるＣＦ	▲363	▲183	▲80
財務活動によるＣＦ	▲512	▲2,268	▲597
現金及び現金同等物に係る換算差額	－	－	－
現金及び現金同等物の増減額	▲3,180	▲482	841
現金及び現金同等物の期末残高	4,442	4,548	7,235

3 2027年3月期業績予想

2027年3月期業績予想（連結）

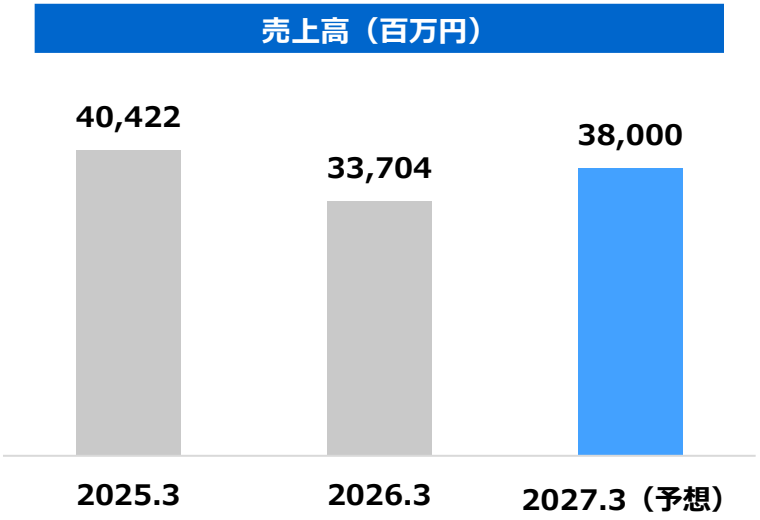
株式会社佐藤渡辺

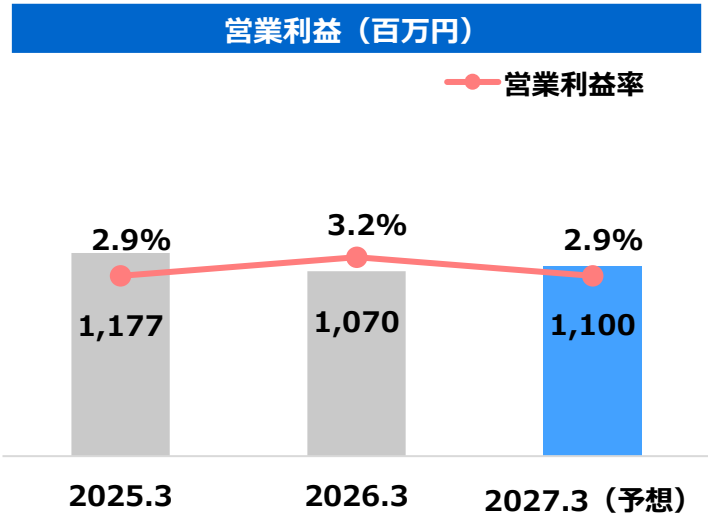
■売上高は、営業停止処分の影響等から回復し、前年実績を上回る380億円を見込む一方、中期経営計画の当初目標値（420億円以上）からは下方修正。

■営業利益は、地政学リスクに伴う事業環境の変化を鑑み、中期経営計画の目標（20億円以上）を見直したが、徹底したコスト管理等により前年を上回る11億円の確保を目指す。

（単位：百万円）

	2025年3月期	2026年3月期	2027年3月期（予想）	対前年増減	増減率
売上高	40,422	33,704	38,000	4,295	12.7%
営業利益	1,177	1,070	1,100	29	2.8%
営業利益率	2.9%	3.2%	2.9%	▲0.3pt	－
経常利益	1,328	1,369	1,300	▲69	▲5.1%
当期純利益	891	883	900	16	1.9%



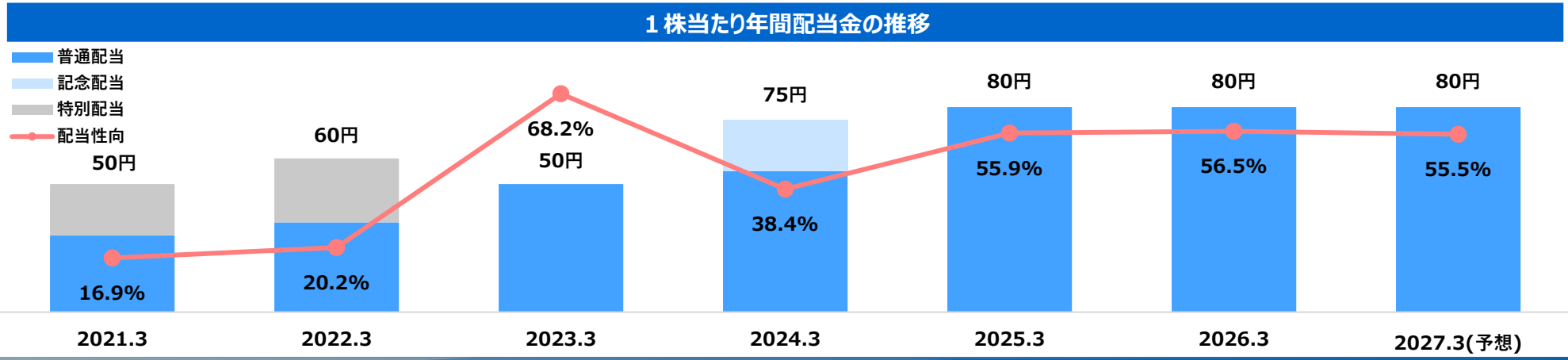


株主還元

■配当実績（2026年3月期）　80円
■配当予想（2027年3月期）　80円
■配当方針
・2024～2026年度の３年間は年間配当80円以上を実施する。
・ＥＰＳを増大させ、配当を長期安定的に継続する。
■自己株式取得は、株式流動性や成長投資の成果等を勘案した上で検討する。

	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期	2027年3月期（予想）
中間配当金	–	–	–	–	40円	40円	40円
期末配当金	50円	60円	50円	75円	40円	40円	40円
年間配当金	50円	60円	50円	75円	80円	80円	80円
配当性向	16.9%	20.2%	68.2%	38.4%	55.9%	56.5%	55.5%

※１　2024年６月１日付で普通株式１株につき２株の割合で株式分割を行っております。2021年３月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、配当金を記載しております。
※２　2021年3月期に20円、2022年3月期に25円の特別配当を含みます。
※３　2024年3月期に20円の創業100周年記念配当を含みます。



4 サステナビリティの取り組み

脱炭素に向けた取り組み

株式会社佐藤渡辺

■温室効果ガス排出量の削減を通じて脱炭素化を推進し、持続可能な社会の構築に貢献してまいります。

SBT認定の取得

SCIENCE BASED TARGETS

DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

2030年度を目標年として設定した温室効果ガス排出削減目標について、パリ協定が求める水準と整合した科学的根拠に基づく目標であると認められ、国際的なイニシアティブであるＳＢＴiよりＳＢＴ認定を取得しました。

●認定された当社の温室効果ガス排出削減目標

基準年度	目標年度	対象	目標値
2024年度	2030年度	Scope 1+2	42.0%以上の削減
		Scope 3	25.0%以上の削減

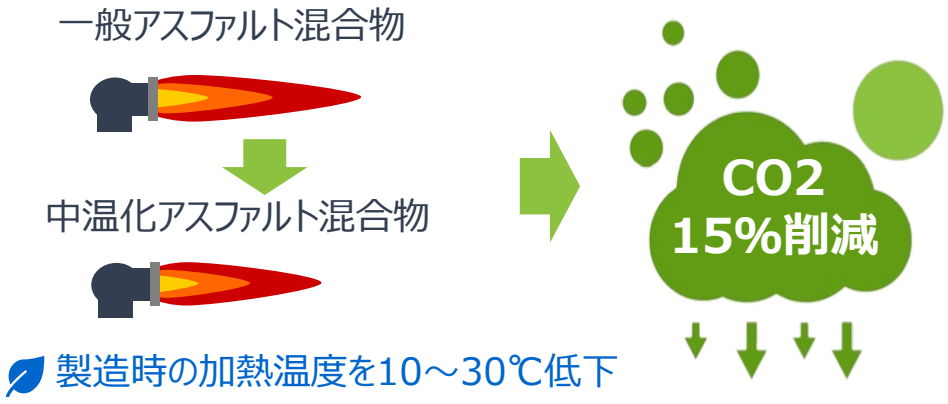
CDP2025「気候変動」における「B」スコア取得

国際的な環境情報開示システムを運営する非営利団体CDPが実施する2025年度質問書において、「気候変動」分野で「Ｂ」スコアを取得しました。
当社が取得した「Ｂ」スコアは、「マネジメントレベル」に該当し、当社が環境課題に対する自社の環境リスクや影響を把握し行動していると評価されたことを示します。

温室効果ガス排出量削減の取り組み

●ＣＮ都市ガス、グリーン電力および再生可能エネルギーの利用

●中温化アスファルト混合物の使用促進



人的資本価値向上に向けての取り組み

株式会社佐藤渡辺

■ **社員の成長を支える教育や働きやすい環境の整備、多様性を尊重した人材戦略を推進し、従業員エンゲージメントの向上を通じて、さらなる企業価値の向上を目指します。**

●福利厚生の拡充

- 従業員持株会ＲＳ制度の導入を決定
- オフィスでやさいの導入
- chocoZAP法人会員制度



オフィスでやさい冷蔵庫



高校での出前授業

●ダイバーシティの推進

- フィリピン人材育成事業参画による特定技能外国人の受入れ



女性安全パトロール



役員と女性社員による意見交換会

●役員と女性社員による意見交換会

- 女性の活躍推進、女性目線による職場環境の改善

●次世代の担い手育成

- 出前授業を通じ、高校生に建設業の魅力を発信

指標（ＫＰＩ）	2025年度実績	2026年度目標
新卒採用者のうち過去3年間の女性採用率	15.0%	20.0%以上
新卒採用者の定着率	100.0%	90.0%以上
管理職に占める女性社員の割合	4.3%	3.0%以上

ＩＲ活動の取り組み

■ 透明性の高い情報開示と、ステークホルダーとの双方向の対話を推進してまいります。

日経・東証IRフェア2026に初出展

●イベント出展内容

・当社ブース内で会社説明会を1日6回実施
・社長をはじめ当社役員・支店長・女性社員が登壇
・事業概要、株主還元、企業価値向上への取り組みを説明
・会社説明会での質疑応答による株主・投資家との対話を実施

●日経・東証IRフェア2026の様子

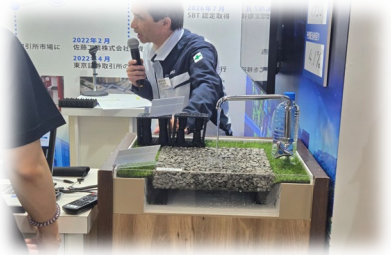


当社ブース


会社説明会 社長登壇時の様子



会社説明会の様子


パーミアコン サンプル装置

●ゆりかもめ車両内にイベント出展ポスターを掲出



2026/8/1～8/31の間、ゆりかもめ電車内全車両にポスターを掲出

「ログミーFinance」を新たに導入

2026年3月期決算説明資料から、投資家の皆さまとの接点がこれまで以上に増加し、情報格差の是正や、より深い事業理解へ繋がるものと考え、ログミーFinance書き起こし記事を公開しております。また、ログミーFinanceが提携する多様なメディアを通じて多くの株主・投資家の皆さまへ配信されるため、投資家層のさらなる拡大が可能になると考えております。

株式会社佐藤渡辺

お問い合わせ先

経営企画室

TEL 03-3453-7211
URL https://watanabesato.co.jp

本資料に記載されている将来に関する記述は、本資料作成時点において入手可能な情報に基づいており、実際の業績等は、今後の経済環境・事業環境等の変化により、異なる結果となる可能性があります。
また、本資料は投資家判断の参考となる情報提供を目的とするものであり、当社株式の購入や売却を勧誘するものではありません。